

患者様に寄り添う

臨床検査科

健康講座

がんと腫瘍マーカー

がん発生の仕組み

正常細胞

異常細胞

放射線・紫外線
発がん性物質などで
遺伝子に変化

異常な細胞が増える
＝がん化

腫瘍マーカーって？

腫瘍マーカーとは、正常な細胞が様々な刺激によってがん化することによってつくられる、タンパク質のことです。

日本人の死亡原因第1位は…

それはがんです。がんは初期に発見できればほぼ完治する病気とされています。気になることがあれば、外来受診をおすすめします。

腫瘍マーカーは血液検査で調べることができます！

腫瘍マーカーは、がんの進行度や治療効果等の判定にも使われます。

ただし、喫煙や加齢などにより値が高くなる場合もありますので注意が必要です。

また、初期のがんでは腫瘍マーカーが少ししか作られない為、腫瘍マーカーの数値だけでがんの有無を判断することができません。

そのため、血液検査やエコー検査・CT検査・内視鏡検査などと組み合わせて検査を行うことが、がんの早期発見・再発防止につながります。

皆様へ

厚生労働省では、

がん検診の受診率を60%以上とすることを目標にがん検診を推進しています。当院予防医療センターでも健診時のオプションでがん検査を受けられます。

(※予約制)

誰でもかかる可能性のある身近な病気です。早期発見のため、定期的ながん検診を受けましょう。

当院では以下の5項目の

腫瘍マーカーが当日結果報告可能です

腫瘍マーカー	陽性率の高いがん
CEA	胃がん、大腸がん、膵がん、胆道がん、肺がん
AFP	肝がん
CA19-9	膵がん、胆道がん
PSA	前立腺がん
CA15-3	乳がん

お問合せ



予防医療センター(直通)

0283-62-9021